

(7) 北 陸



北陸地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は高水準で推移している。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いている。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

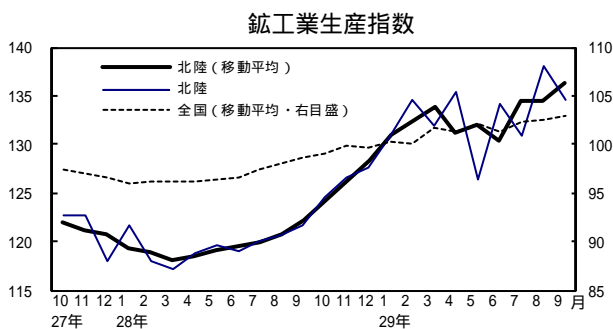
前回調査からの主要変更点

なし

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は高水準で推移している。

7 - 9月期には、電子部品・デバイスは、スマートフォン用の電子部品等が増加した。化学は、医薬品は減少したものの、高水準でおおむね横ばいとなった。はん用・生産用・業務用機械は、半導体需要の一服感から半導体製造装置等が減少した。繊維は、衣類等が、金属製品は、建設用金属製品等が減少したものの、おおむね横ばいとなった。



(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び北陸の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

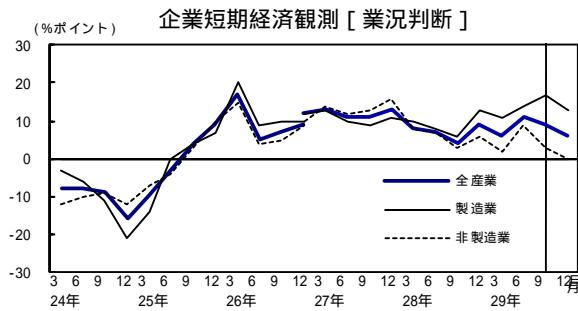
域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

| | 付加価値 ウェイト | 生産 | | | | |
|---------------|--------------|-------------|-------------|------|-----|-----|
| | | 4 - 6 月期 | 7 - 9 月期 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 電子部品・デバイス | 20.8 | 6.7 | 10.3 | 3.8 | 9.0 | 6.2 |
| 化学 | 13.5 | 0.1 | 2.9 | 5.4 | 3.2 | 1.7 |
| はん用・生産用・業務用機械 | 12.7 | 7.6 | 5.8 | 10.9 | 9.7 | 2.9 |
| 繊維 | 8.4 | 0.3 | 0.7 | 4.4 | 5.0 | 1.2 |
| 金属製品 | 6.0 | 1.5 | 0.7 | 2.9 | 4.8 | 2.4 |
| 鉱工業 | 100.0 | 0.4 | 1.9 | 2.5 | 5.5 | 2.6 |

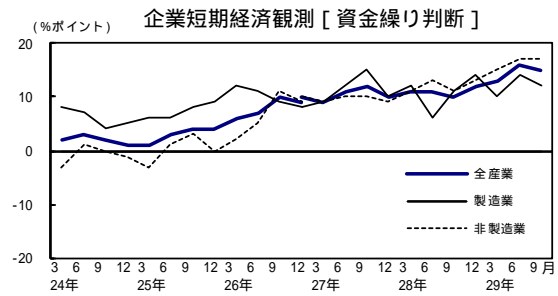
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。
2. 7 - 9月期、9月は速報値。

(7) 北陸

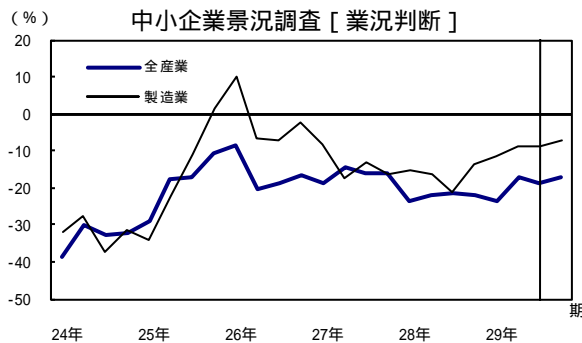
(2) 業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年12月は予測
26年12月は新・旧基準を併記



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記

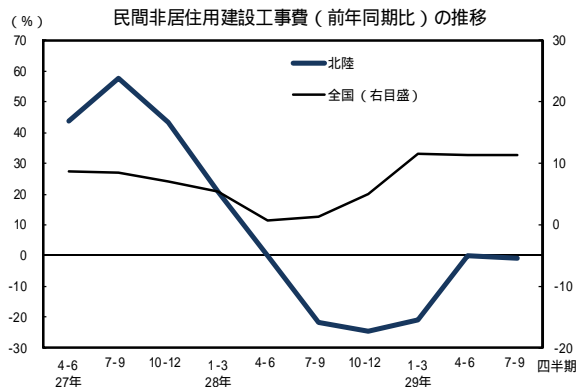


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「米国市場は順調に受注できている。欧州市場では、大型見本市出展以降に商談が決まり、受注は伸びている。また、国内市場も好調である。しかし、受注は伸びているものの、機械を作る基幹部品の納品が滞っており、生産できないという問題が発生している(一般機械器具製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は前年に比べておおむね横ばいとなっている。



(備考)29年4-6月期以降は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

企業短期経済観測調査[設備投資(9月調査)]

| | (前年度比、%) | |
|------|----------|-----------|
| | 28年度実績 | 29年度推 |
| 全産業 | 13.3 | 4.9(1.9) |
| 製造業 | 19.7 | 13.9(2.5) |
| 非製造業 | 3.6 | 6.3(0.9) |

(備考)()は前回(6月)調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きが続いている。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

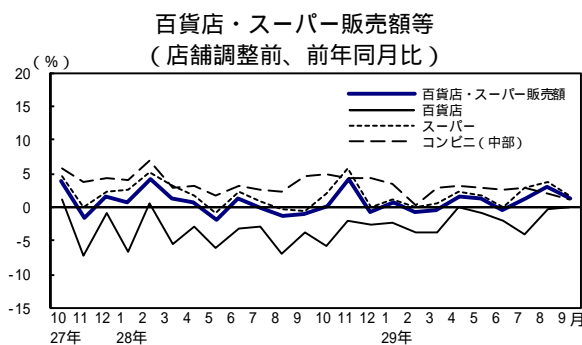
7月は前月比0.1%増、8月は同0.2%増、9月は同0.9%減となった。

百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、7月は、衣料品中心に振るわなかったもの的高額品など一部には好調な動きがみられたほか、新規開店・改装した店舗が好調に推移したことなどから、前年を上回った。8月は、天候の影響などにより夏物商材は伸び悩んだものの、秋物に動きがみられ、店舗改装効果や相場高もあって飲食料品が好調に推移したことなどから、前年を上回った。9月は、催事や店舗の改装効果などから飲食料品中心に好調な動きがみられ、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (10月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「来客数は前年を維持しているが、客単価が減少している。特に1品単価が減少しており、より安い特売品の割合が増加している (スーパー)」など、「やや悪くなっている」とする回答が増加した。



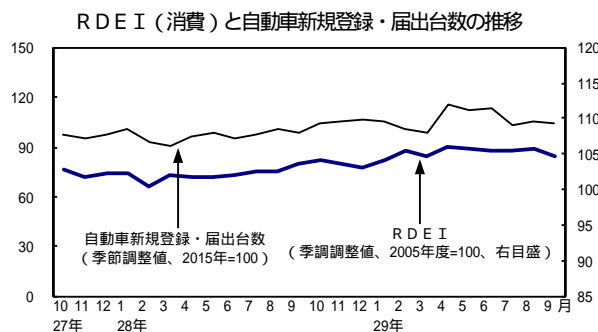
| | 29年7-9月 | 29年7月 | 8月 | 9月 |
|--------------|---------|-------|-----|-----|
| RDEI (消費*1) | 0.4 | 0.1 | 0.2 | 0.9 |
| 百貨店・スーパー(*2) | 1.9 | 1.2 | 3.1 | 1.4 |
| 百貨店(*2) | 1.7 | 4.1 | 0.4 | 0.1 |
| スーパー(*2) | 2.8 | 2.8 | 3.8 | 1.7 |
| コンビニ(*2) | 2.0 | 2.9 | 1.9 | 1.1 |
| 乗用車(*3) | 4.8 | 5.3 | 3.8 | 5.0 |
| (季節調整値)(*3) | 8.1 | 8.5 | 1.5 | 0.3 |

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

コンビニは、経済産業省の中部 (富山、石川、岐阜、愛知、三重) の値。

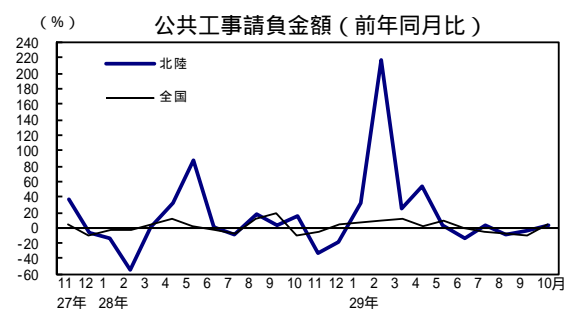
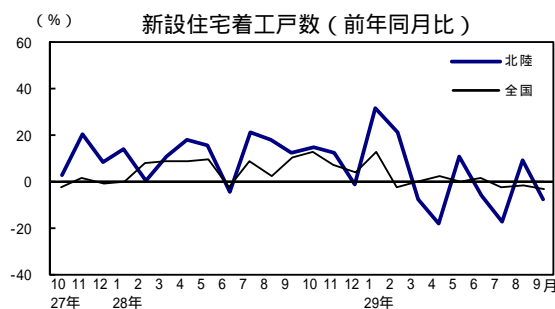
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設は前年に比べて減少している。

分譲は前年を上回ったものの、持家が下回ったことから、全体では減少している。

(3) 公共投資は29年度累計で見ると前年度を上回っている。



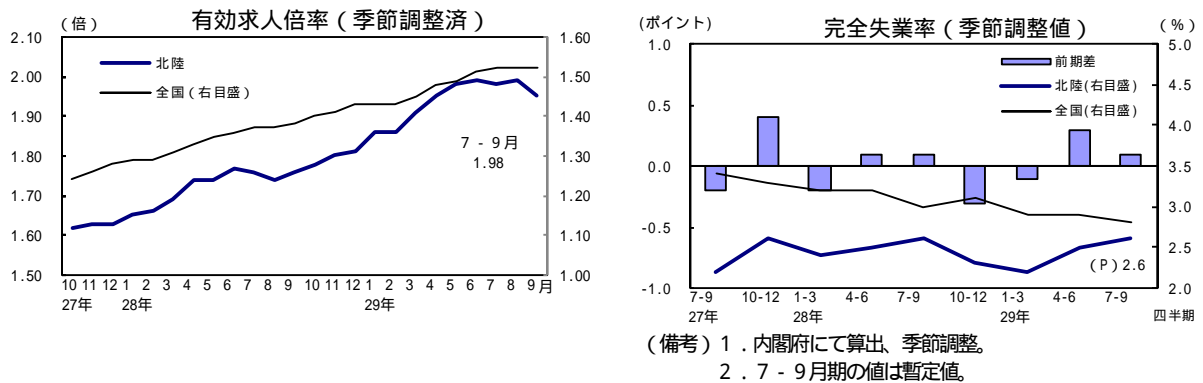
(7) 北陸

3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を上回っている。



景気ウォッチャー調査 (10月調査結果)[雇用関連 (現状)]

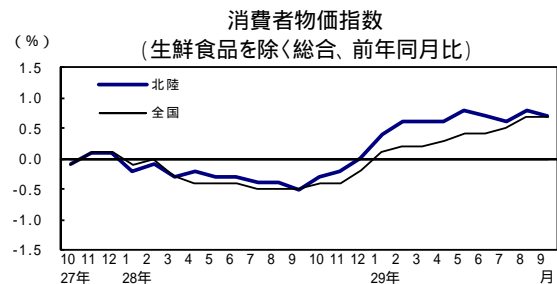
「求人数は、前年と比べると増加傾向にあるものの、横ばい状況になってきている (職業安定所)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は前年に比べて件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅がおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

| | (件、億円、%) | | | | |
|-------|-----------|---------|------|------|--------|
| | 28年10-12月 | 29年1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | 29年10月 |
| 倒産件数 | 42 | 54 | 43 | 44 | 23 |
| (前年比) | 22.2 | 5.3 | 31.7 | 4.3 | 109.1 |
| 負債総額 | 51 | 139 | 39 | 65 | 34 |
| (前年比) | 46.0 | 39.9 | 11.3 | 7.5 | 638.9 |



景気ウォッチャー調査 (10月調査結果)[合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・仕入価格や配送コストの値上げ改定によって、利益確保がより難しくなっている (一般小売店 [事務用品])

<先行き>

・年末商戦に加え、新機種の入荷状況によっては多くの販売量が見込める (通信会社)

